

東 広 島 市 の 概 要

東広島市は、昭和 49 年 4 月 20 日に賀茂郡内の西条町、八本松町、志和町、高屋町の 4 町が合併し、広島県内 12 番目に誕生した市です。

本市は、広島県のほぼ中央に位置し、緑豊かな自然環境に恵まれています。また、安芸国の中心地として早くから開け、古い歴史と文化をもっています。市内には、5 世紀前半に築造された県内最大級の前方後円墳である三ツ城古墳、奈良時代に創建された安芸国分寺、室町時代に大内氏の安芸国支配の拠点として築かれた鏡山城などがあります。江戸時代には西条町に郡御役所が置かれ、山陽道の宿場町四日市には本陣も置かれるなど、賀茂台地の中心地として栄えてきました。

昭和 48 年 2 月に広島大学の統合移転先が西条町に決定したのを契機に、学園都市建設の機運が高まり、翌年 4 月の市制施行の後、昭和 53 年に策定した東広島市総合計画に基づいて「人間と自然の調和のとれた学園都市」を将来像としたまちづくりがスタートしました。

昭和 59 年 3 月には、本市を含む 3 市 2 町が広島中央テクノポリスの地域指定を受け、その建設も着実に進み、平成 4 年 8 月には、10 万都市の仲間入りを果たし、平成 5 年 10 月に開港した広島空港をはじめ、山陽新幹線、山陽自動車道などの高速交通網の整備も進み、さらには、平成 7 年 3 月に広島大学が、平成 13 年 9 月には近畿大学工学部が統合移転を完了するなど、学園都市として着実に発展してきました。

広島県の協力で研究開発拠点として整備された広島中央サイエンスパークには、先端技術分野における試験研究機関の集積が進み、東京都から移転開設した独立行政法人酒類総合研究所（平成 7 年 7 月）などの公的研究機関のほか、中国電力などの民間研究所が開設され、科学技術都市としても成長を遂げてきました。

平成 17 年 2 月 7 日には東広島市、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町、安芸津町の 1 市 5 町が合併し、新市の人口は約 175,000 人、面積は約 635 平方キロメートルとなるとともに、広島国際大学などの学術研究機関が加わりました。

近年では、東広島・呉自動車道の全線開通、JR 寺家駅の開業、一般国道 2 号東広島・安芸バイパスの全線開通など交通機能の充実・強化が図られたほか、東広島芸術文化ホール くららの開館、東広島市立美術館の移転・開館などの中心市街地の機能強化など、各種都市機能の整備を行っており、令和 5 年 6 月末現在の人口は約 190,000 人に達しています。

令和 2 年 3 月に策定した第五次東広島市総合計画では、本市の目指すべき将来都市像として「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～」を掲げたまちづくりを進めています。また、本市の行政資源と市内 3 大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで地方創生を実現し、持続的な地域の発展と大学の進化をとともに目指す Town & Gown（タウン アンド ガウン）構想を推進しています。

教育の分野では、令和元年 6 月に第 2 期東広島市教育振興基本計画を策定し、『『夢と志』をもち、グローバル社会をたくましく生きる人材の育成』という基本理念の下、5 年間で重点的に取り組むべき施策の考え方や方向性を示しました。学校教育においては、第五次学校教育レベルアッププラン等に基づき、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指し、和文化教育の推進や東広島スタンダードの定着推進等、特色ある教育を展開しています。生涯学習においては、生涯学習推進計画、学びのキャンパス推進事業における行動計画、東広島市スポーツ推進計画等を定め、大学・研究機関等と連携し、市民の主体的な学びを総合的に支援しています。

目 次

I 教育行政

1 東広島市教育の基本理念・基本目標	1
2 機構図	3
3 職務級別職員数	4
4 教育委員会の沿革概要	5

II 教育予算と主要事業

1 教育費予算の概要	14
2 教育費予算の推移	14
3 令和5年度一般会計歳出予算（令和5年4月1日現在）	15
4 令和5年度教育費歳出予算（令和5年4月1日現在）	15
5 主要事業の概要	16

III 教育施設の概要

1 学校教育施設	17
2 社会教育施設	18
3 体育・スポーツ施設	20
4 文化施設	22

IV 学校教育の充実

1 第五次学校教育レベルアッププラン	23
2 小中学校別児童生徒、学級数の推移	27
3 児童生徒の状況と対応	32
4 進路状況	34
5 令和5年度市立幼稚園、小・中学校、園児・児童・生徒・学校教職員数	35
6 令和4年度市立幼稚園、小・中学校における園児・児童・生徒負傷件数	38
7 学校給食関係資料	38
8 小中学校クラブ（部）活動（令和5年度実施状況）	41
9 研究発表のあゆみ	43
10 令和5年度全国学力・学習状況調査結果	54
11 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果	55

12	保護者負担の軽減	58
13	人権教育の推進	59
14	特別支援教育の推進	60
15	就学前幼児の現状	61

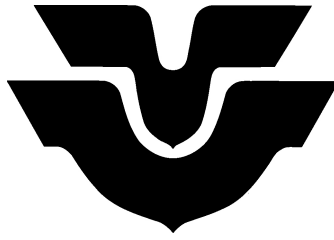
V 生涯学習の推進、社会教育、スポーツ・文化の振興

1	講座、イベント、大会、講演会等開催状況（令和4年度）	64
2	指定文化財、登録文化財	72
3	令和4年度生涯学習センター等活動事業（主な講座名）	79
4	令和4年度生涯学習センター及び地域センター等利用状況	82
5	令和4年度図書館資料状況	84
6	令和4年度図書館利用状況	85
7	美術館年度別美術品収集状況	87
8	令和4年度美術館事業	88
9	令和4年度視聴覚ライブラリー利用状況	89

VI その他

1	東広島市教育委員会教育長及び委員	90
2	各種委員	91
3	教育委員会関係施設所在地・電話番号等一覧	93

東 広 島 市 の 市 章



緑に囲まれた学園都市、東広島市の限りない飛躍と発展を希^{ねが}って、東広島の「ひ」の文字を鳥の飛体で表現している。東広島の二つの「ひ」はかたく結びついた市民のきずなでもある。鳥の胸を思わせる位置の鋭い突起は学園都市東広島市で学ぶ学者のシンボルのペン先をあらわしている。

東 広 島 市 歌

作詞 檀上 正孝

作曲 関野 幾生

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 1 緑ゆたかに ひらけゆく | 2 自由と真理を 求めゆく |
| 賀茂の台地の 朝ぼらけ | 学園都市の 名ぞ高き |
| おお ここに | おお ここに |
| われらが手もて 新しき | 自然の恵み 身にうけて |
| 希望の街を うち立てん | 心の糧を はぐくまん |
| 限りなき 陽光のもとに | 永遠 ^{とこしえ} の 平和のもとに |
| 栄えあれ 東広島 | 誇りあれ 東広島 |

あどりゆたかにひらけゆく
MI DO RI YU TA KA NI HIRA KE YU KU

かものだいちのあさぼらけお
KA MONODAI CHI NO A SA BO RA KE O

おここにわれらがてもてあたらしきほ
O KO KO NI WA RE RA GA TE MO TE A TA RA SHI KI KIBO

うのまちをうちたてんかぎりなき
U NO MACHIO U CHITATE N KAGIRINAKI

ひかりのもとにさかえあれひがしひろしま
HIKARINOMOTONI SAKAE A RE HIGASHI-HIROSHI MA